



特別勘定（世界バランス型30AF）

四半期運用実績レポート

2012年7月～2012年9月

【利用する投資信託の委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。母体であるステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立された歴史と伝統を有する金融機関であり、卓越した財務内容と高い信用力を有しています。最先端テクノロジーと高度な運用技術を駆使したクオンツ運用に定評があり、特にインデックス運用では世界有数の資産運用会社として評価されています。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険(07)有期D2型」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

変額個人年金保険(07) 有期D2型 特別勘定の四半期運用実績レポート(2012年7月~2012年9月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が作成した運用環境をアクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境 [2012年7月~2012年9月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、米景気の回復期待や日米欧の金融緩和、為替相場の円安傾向を受けて上昇した場面もありましたが、欧州債務不安の再燃や中国の景気減速懸念から下落しました。7月は、欧州債務不安や米景気の先行き不透明感、円高進行などが売り圧力となり下落しました。しかし月末には、決算発表が本格化する中、好業績銘柄を嗜好する動きも見られました。8月に入ると、米景気に対する改善期待が高まり、また為替が円安に振れたことも好感されて上昇しましたが、月後半には中国景気の先行き不安や世界的な株安傾向を受けて下落しました。9月には、日米欧で追加金融緩和が発表されたことなどから上昇に転じましたが、下旬には再び中国に対するリスクの懸念や欧州債務不安が再燃し、軟調に終わりました。

業種別では、9月に金融緩和を好感して上昇した「その他金融業」(前四半期比+5.97%)の上昇率が最大となった一方、市況悪化で業績が懸念された「海運業」(前四半期比▲34.31%)の下落率が最大となりました。

【外国株式市場】

外国株式市場は、期初から7月下旬にかけてはやや軟調でしたが、その後は欧米の中央銀行による追加的な政策への期待と実際に発表された政策を好感して9月中旬まで上昇基調で推移しました。

米国株式市場は期初は連騰して始まりましたが、軟調な経済指標や欧州債務問題の深刻化懸念から7月下旬まで行って来いの動きとなりました。その後、政策担当者からの積極的な発言や金融緩和策の公表によって株価の水準訂正がなされてはその水準を維持するという動きが9月中旬まで続きました。期末にかけては金融緩和の効果への疑問などから下落気味に推移しました。欧州株式市場も米国市場と同様の動きとなりましたが、より振幅が大きくなりました。スペイン、イタリア市場は債務問題への懸念から7月下旬には期初から10%以上下落したものの、9月中旬には15%前後の上昇となりました。しかし、最終的には両市場の当四半期の騰落率は1桁後半の値となりました。

アジア株式市場は相対的に安定した動きとなり、特に他市場が弱含んだ9月後半は中国政府が景気刺激策を講じるのではとの期待が高まったことから相対的に堅調に推移しました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、期前半は、6月の日銀短観の大企業製造業・非製造業業況判断がともに事前予想を上回った一方、経常収支の黒字幅が事前予想を下回るなど経済指標が強弱交錯する中、欧州債務危機の高まりを背景にリスク回避姿勢が高まったことを受けて日本国債が買われました。期後半は、8月に発表された4-6月期GDP(速報値)が実質・名目ともに事前予想を下回ったことや、9月に実施された日銀の追加金融緩和などが日本国債の買い材料となりました。日本10年国債利回りは前期末から▲0.059%低下の0.778%となりました。無担保コール翌日物も前期末から+0.002%上昇の0.078%となりました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、期前半、ISM製造業および非製造業指数が前回値から低下するなど、軟調な経済指標を背景に債券が買われました。期後半は、量的緩和第3弾(QE3)が発表されたことを受けて景気への楽観論が広がったことを背景に債券が売られました。米国10年債利回りは前期末から▲0.011%低下の1.634%となりました。

欧州債券市場では、期前半、欧州中央銀行(ECB)による利下げや欧州債務危機の高まりを背景に買への逃避先として独債が買われました。期後半には、ECBが無制限に国債を買い入れるとの発表が独債の売り材料となりましたが、期末にかけてはスペインやギリシャを中心に欧州債務懸念が再燃し、独債が再度買われました。英国債券市場は、7月のイングランド銀行(BOE)による資産買い入れ枠の拡大を受けて債券が買われましたが、期後半は米債に連動するかたちで売り戻されました。独10年債利回りは前期末から▲0.141%低下の1.442%、英10年債利回りは▲0.007%低下の1.727%となりました。

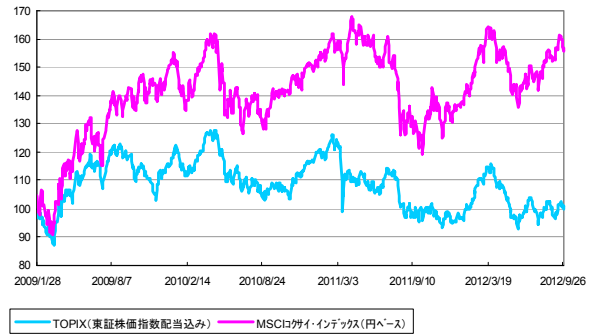
【外国為替市場】

米ドル/円相場は、欧州債務問題や中国景気の鈍化に対する懸念の高まりを背景に安全資産通貨とみられる日本円が主要通貨に対して買われました。また、期後半には米追加金融緩和の効果に対する懸念が広がったことを受けて米ドルが対円で売られる展開となりました。円は対米ドルで前期末から1円71銭(2.16%)円高ドル安の1ドル=77円60銭となりました。

ユーロ/円相場は、期前半は欧州債務危機の高まりを背景にユーロが弱含みましたが、期後半には、ECBが無制限に国債を買い入れるとの発表を受けてユーロが対主要通貨で買われる展開となりました。円は対ユーロで前期末から1円50銭(1.52%)円安ユーロ高の1ユーロ=100円24銭となりました。

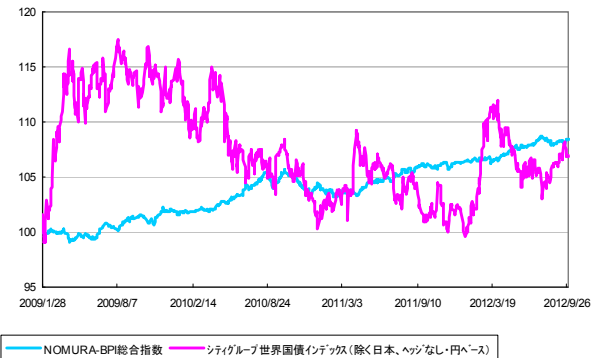
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2009年1月28日を100として指数化しています。



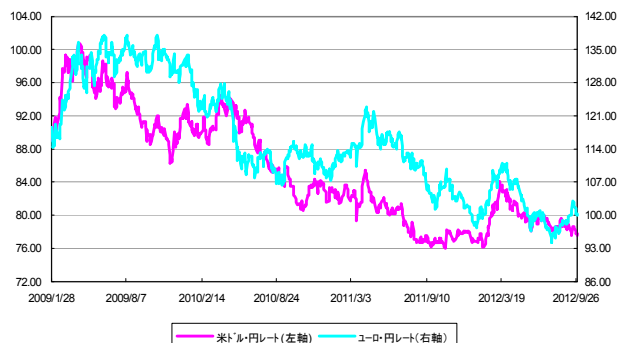
日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2009年1月28日を100として指数化しています。



出所: ジェネリック日本利付国債残存10年単利(ブルームバーグ)
出所: ジェネリック米国国債10年およびドイツ国債10年の利回り(ブルームバーグ)

外国為替市場の推移



出所: 株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険 (07) 有期D2型

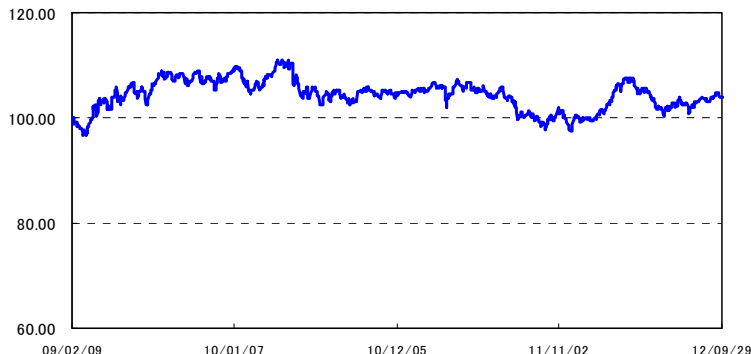
特別勘定の四半期運用実績レポート (2012年7月～2012年9月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2012年9月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界バランス型30AF	<ul style="list-style-type: none"> 当ファンドは、内外の株式・公社債への分散投資を図り、長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 基本配分比率は原則として以下の通りとします。 日本株式10% (運用の指標: TOPIX(東証株価指数当込み))、 日本債券30% (運用の指標: NOMURA-BPI総合指数)、 外国株式20% (運用の指標: MSCIコクサイ・インデックス(円ベース))、 外国債券40% (運用の指標: シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)) * * 外国債券については、実質的な組入外貨建資産の15% 部分について、原則として為替ヘッジを行います。
利用する投資信託	
ステート・ストリート4資産バランス30VA2 〈適格機関投資家限定〉	

※ 特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



・特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定の設定日(2009年2月9日)を100.00として計算しております。

特別勘定のユニット・プライス	騰落率(%)		
2012年9月末	103.98	過去1ヶ月	0.86%
2012年8月末	103.08	過去3ヶ月	1.75%
2012年7月末	102.45	過去6ヶ月	▲ 2.75%
2012年6月末	102.19	過去1年	4.86%
2012年5月末	101.18	過去3年	▲ 3.31%
2012年4月末	105.62	設定来	3.98%

・実際のユニットプライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。
 ・騰落率は、該当月の月末のユニット・プライスに対する今月末のユニット・プライスの変動率を表しています。

項目	世界バランス型30AF	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	630,183	98.6%
現預金・その他	8,684	1.4%
合計	638,868	100.0%

・各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
 ・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【引受保険会社】
 アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 有期D2型

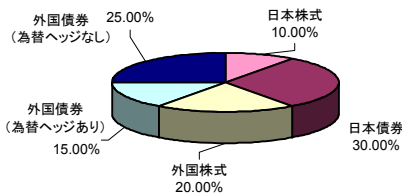
特別勘定の四半期運用実績レポート(2012年7月~2012年9月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご通知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

ステート・ストリート4資産バランス30VA2<適格機関投資家限定>の運用状況 [2012年9月末日現在]

■ファンドの特色

【基本配分比率】



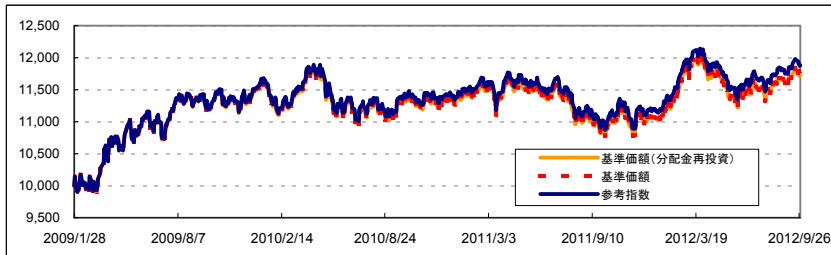
当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。

当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券: 「TOPIX(東証株価指数配当込み)」
 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券: 「NOMURA-BPI総合指数」
 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券: 「MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)」
 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券: 「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし、円ベース)」*
 *当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外貨建資産の15%部分について、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」となります。

■基準価額の推移

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- グラフは、ステート・ストリート4資産バランス30VA2<適格機関投資家限定>の設定日(2009年1月28日)を10,000として指数化しています。
- 基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.315%程度(税抜0.30%程度))控除後の値です。
- 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものととして計算しています。
- 参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)10%、NOMURA-BPI総合指数30%、MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)20%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)25%、およびシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)15%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2012年9月28日	前月末	前月末比
基準価額	11,727 円	11,603 円	124 円
純資産総額(百万円)	630	625	5

	基準価額	日付
設定来高値	12,007 円	2012年3月28日
設定来安値	9,905 円	2009年2月3日

■資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	10.00%	9.74%
日本債券	30.00%	30.06%
外国株式	20.00%	20.04%
外国債券(為替ヘッジあり)	15.00%	15.02%
外国債券(為替ヘッジなし)	25.00%	25.17%
短期金融資産	0.00%	▲0.03%
合計	100.00%	100.00%

- ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- 計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.07%	2.35%	▲1.63%	7.34%	3.64%	17.26%
参考指数	1.09%	2.44%	▲1.41%	7.83%	4.87%	18.80%
差	▲0.02%	▲0.10%	▲0.22%	▲0.48%	▲1.23%	▲1.54%

- ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものととして計算しております。
- また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。

■組入上位5カ国

国名	比率
日本	39.80%
アメリカ	28.33%
イギリス	5.43%
フランス	4.82%
ドイツ	4.43%

■組入上位5通貨

通貨	比率
円	54.82%
米ドル	21.95%
ユーロ	12.74%
ポンド	4.15%
加ドル	1.80%

- 上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

- 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命「AXA」 http://www.axa.co.jp/life/

変額個人年金保険(07) 有期D2型

特別勘定の四半期運用実績レポート(2012年7月~2012年9月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご通知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

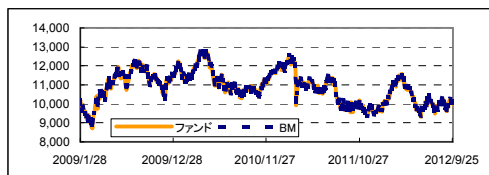
各マザーファンドの運用状況 [2012年9月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク(BM) : TOPIX(東証株価指数配当込み)
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 98,869 百万円



・ 2009年1月28日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.82%	▲3.21%	▲12.66%	▲0.75%	▲13.32%	▲0.14%
ベンチマーク	1.80%	▲3.24%	▲12.66%	▲0.78%	▲13.47%	▲0.25%
差	0.03%	0.03%	0.01%	0.02%	0.16%	0.11%

・ 設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,674 銘柄

銘柄	業種	ファンド	BM
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.82%	3.91%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.65%	2.71%
3 本田技研工業	輸送用機器	1.96%	2.01%
4 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.77%	1.81%
5 日本電信電話	情報・通信業	1.64%	1.68%
6 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.56%	1.60%
7 キヤノン	電気機器	1.50%	1.54%
8 ソフトバンク	情報・通信業	1.37%	1.40%
9 武田薬品工業	医薬品	1.37%	1.40%
10 ファナック	電気機器	1.27%	1.30%
合計		18.91%	19.36%

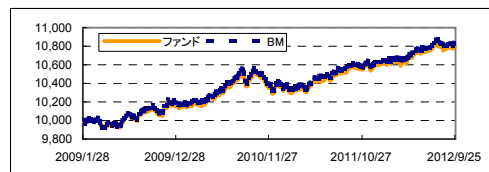
組入上位10業種

業種	ファンド	BM	差
1 電気機器	11.59%	11.86%	▲0.27%
2 輸送用機器	9.82%	10.05%	▲0.23%
3 銀行業	9.76%	9.98%	▲0.22%
4 情報・通信業	7.01%	7.20%	▲0.19%
5 化学	5.59%	5.71%	▲0.12%
6 医薬品	5.46%	5.59%	▲0.12%
7 卸売業	5.31%	5.41%	▲0.10%
8 機械	4.60%	4.70%	▲0.10%
9 小売業	4.44%	4.56%	▲0.11%
10 陸運業	4.28%	4.38%	▲0.10%
合計	67.87%	69.45%	▲1.58%

ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク(BM) : NOMURA-BPI総合指数
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 179,217 百万円



・ 2009年1月28日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.26%	0.52%	1.58%	2.34%	6.90%	8.11%
ベンチマーク	0.26%	0.51%	1.56%	2.35%	6.96%	8.41%
差	0.01%	0.01%	0.01%	▲0.01%	▲0.07%	▲0.29%

・ 設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 874 銘柄

銘柄	クーポン	償還日	ファンド	BM
1 第102回利付国債	0.300%	2016年12月20日	1.24%	0.71%
2 第320回利付国債	1.000%	2021年12月20日	1.15%	0.68%
3 第264回利付国債	1.500%	2014年9月20日	1.15%	0.51%
4 第99回利付国債	0.400%	2016年9月20日	1.13%	0.67%
5 第319回利付国債	1.100%	2021年12月20日	1.04%	0.33%
6 第267回利付国債	1.300%	2014年12月20日	1.03%	0.26%
7 第302回利付国債	1.400%	2019年6月20日	1.02%	0.32%
8 第100回利付国債	0.300%	2016年9月20日	0.95%	0.36%
9 第310回利付国債	1.000%	2020年9月20日	0.93%	0.64%
10 第311回利付国債	0.800%	2020年9月20日	0.91%	0.35%
合計			10.55%	4.84%

・ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

債券種別資産構成比率

債券種別	ファンド	BM	差
国債	78.04%	76.99%	1.05%
地方債	6.75%	7.34%	▲0.59%
政府保証債	4.23%	4.22%	0.02%
金融債	1.14%	1.22%	▲0.09%
事業債	8.56%	8.11%	0.45%
円建外債	0.23%	0.74%	▲0.51%
MBS債	0.97%	1.38%	▲0.42%
コール・その他	0.09%	0.00%	0.09%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

・ 資産担保証券(ABS)は事業債に含まれています。

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	0.62%	0.62%	0.00%
平均クーポン	1.47%	1.41%	0.06%
平均残存期間	8.26	8.11	0.15
修正デュレーション	7.29	7.23	0.06

・ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命「AXA」 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 有期D2型 特別勘定の四半期運用実績レポート(2012年7月~2012年9月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

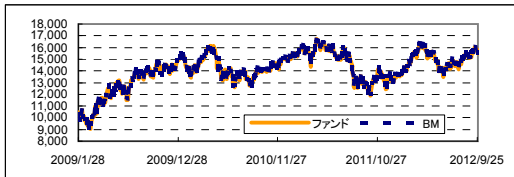
各マザーファンドの運用状況 [2012年9月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド

※ ベンチマーク (BM) : MSCIロクサイ・インデックス(円ベース) **純資産総額:** 135,790 百万円

※ 比率は、純資産総額比となります。



・2009年1月28日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去 1か月	過去 3か月	過去 6か月	過去 1年	過去 3年	設定来
ファンド	3.06%	9.31%	▲2.09%	24.32%	11.60%	55.87%
ベンチマーク	3.05%	9.36%	▲2.00%	24.59%	11.93%	56.73%
差	0.01%	▲0.05%	▲0.10%	▲0.27%	▲0.34%	▲0.86%

・設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,308 銘柄

順位	銘柄	国名	業種	ファンド	BM
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.70%	2.75%
2	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.82%	1.85%
3	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	1.02%	1.04%
4	CHEVRON CORPORATION	アメリカ	エネルギー	0.98%	1.00%
5	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.97%	0.98%
6	IBM CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.96%	0.97%
7	AT & T INC	アメリカ	電気通信サービス	0.94%	0.96%
8	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.89%	0.91%
9	GOOGLE INC-CL A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.83%	0.85%
10	PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.80%	0.82%
合計				11.91%	12.12%

・ベンチマーク (BM) の比率は2012年9月27日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

組入上位10業種

順位	業種	ファンド	BM
1	エネルギー	11.47%	11.68%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	8.15%	8.30%
3	銀行	7.47%	7.63%
4	資本財	7.18%	7.28%
5	食品・飲料・タバコ	6.86%	6.98%
6	素材	6.76%	6.88%
7	ソフトウェア・サービス	6.14%	6.24%
8	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.96%	5.04%
9	各種金融	4.42%	4.50%
10	保険	4.04%	4.11%
合計		67.45%	68.62%

組入上位10カ国

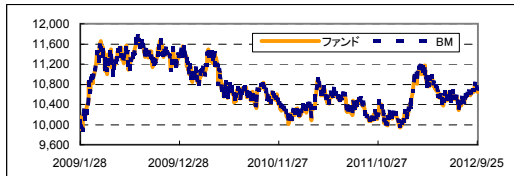
順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	57.68%	58.71%
2	イギリス	10.24%	10.41%
3	カナダ	5.37%	5.46%
4	フランス	4.11%	4.17%
5	オーストラリア	3.90%	3.96%
6	スイス	3.78%	3.85%
7	ドイツ	3.78%	3.84%
8	スウェーデン	1.43%	1.45%
9	香港	1.36%	1.38%
10	スペイン	1.26%	1.31%
合計		92.90%	94.55%

ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド

※ ベンチマーク (BM) : シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

純資産総額: 233,388 百万円

※ 比率は、純資産総額比となります。



・2009年1月28日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去 1か月	過去 3か月	過去 6か月	過去 1年	過去 3年	設定来
ファンド	0.74%	2.04%	▲3.28%	5.36%	▲5.63%	6.72%
ベンチマーク	0.74%	2.04%	▲3.27%	5.37%	▲5.46%	6.95%
差	▲0.01%	▲0.00%	▲0.01%	▲0.01%	▲0.17%	▲0.23%

・設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 460 銘柄

順位	銘柄	通貨	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	アメリカ国債	米ドル	4.250%	2013年11月15日	1.06%	0.23%
2	アメリカ国債	米ドル	0.250%	2014年5月31日	1.05%	0.25%
3	アメリカ国債	米ドル	1.500%	2013年12月31日	0.83%	0.22%
4	アメリカ国債	米ドル	0.125%	2013年9月30日	0.76%	0.26%
5	アメリカ国債	米ドル	0.625%	2014年7月15日	0.69%	0.23%
6	アメリカ国債	米ドル	4.500%	2015年11月15日	0.68%	0.17%
7	アメリカ国債	米ドル	4.250%	2015年8月15日	0.67%	0.20%
8	アメリカ国債	米ドル	4.375%	2039年11月15日	0.67%	0.30%
9	アメリカ国債	米ドル	1.875%	2015年6月30日	0.64%	0.20%
10	アメリカ国債	米ドル	4.125%	2015年5月15日	0.61%	0.20%
合計					7.66%	2.25%

・「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

・ベンチマーク (BM) の比率は2012年9月27日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

組入上位10カ国

順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	41.74%	41.84%
2	フランス	9.95%	9.90%
3	ドイツ	9.14%	9.09%
4	イタリア	8.87%	8.81%
5	イギリス	8.40%	8.38%
6	スペイン	4.09%	4.06%
7	カナダ	2.91%	2.93%
8	ベルギー	2.69%	2.71%
9	オランダ	2.65%	2.67%
10	オーストリア	1.79%	1.79%
合計		92.23%	92.18%

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	1.62%	1.62%	0.01%
平均クーポン	3.69%	3.26%	0.43%
平均残存期間	7.78	7.72	0.06
修正デュレーション	6.17	6.17	0.01

・「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

・上記の属性は2012年9月27日時点のものです。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命保険株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 有期D 2型のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

- ・この保険は、積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- ・特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行っており、株式および公社債等の価格変動と為替変動にともなう投資リスクがあります。
- ・特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
- ・運用実績によっては、ご契約を解約した場合の解約払戻金額等が一時払保険料を下回る場合があります。
- ・特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、アクサ生命、アクサ生命の募集代理店および第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【ご契約者にご負担いただくこの保険の費用は下記のとおりです】

- この保険では、「契約初期費」、「保険関係費」、「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。一般勘定で運用する年金をご選択の場合、他に「年金管理費」をご負担いただきます。

【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費	ご契約の締結等に必要の費用	一時払保険料に対して 5.0% 特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

【積立期間中および特別勘定年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険関係費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.3% 積立金額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	投資信託の信託報酬等、特別勘定の運用に必要な費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.315%程度(税抜:年率0.30%程度)* 特別勘定にて利用する投資信託における純資産額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

- * 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更になる可能性があります。

- 【一般勘定で運用する年金の支払期間中】 ※一般勘定で運用する年金とは、保証期間付終身年金・保証期間付夫婦連生終身年金・確定年金・一時金付終身年金を意味します。(年金支払特約等によりお受け取りいただく年金を含みます。)

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用	年金額に対して 1.0%* 年金支払日に責任準備金から控除します。

- * 年金管理費は、将来変更になる可能性があります。

変額個人年金保険(07)有期D2型「いつでも夢を」は現在販売していません。

【引受保険会社】
 アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>